

- ◆ 会 場：柏崎原子力広報センター 2F 研修室
- ◆ 出席委員：新野・川口・佐藤・三宮・高橋(武)・武本、前田委員 …7名
- ◆ オブザーバー：保安院/今井所長 大嶋副所長 エネ庁/七部所長
東電/長野副所長 森総括 GM
- ◆ 事務局：柏崎市/阿部主任 広報センター/永井事務局長 石黒主事

委員改選の報告及び次期役員の検討について

- 第4期は6名の方が新委員となる。うち2名は後任が未定。
- 会長、副会長、運営委員も任期満了に伴い新たに選出する。次回5月定例会時に互選により選出予定。

新年度活動内容の一部変更について

〈事務局〉今年度予算について昨年度当初予算に比べ15%程度削減されている。印刷製本費や謝金等は確保しているが、県外視察や県技術委員会傍聴などに関わる経費に相当する、旅費交通費や借上料などが大幅にカットされており、県外での活動が難しい状況。厳しい財政状況の折、ご承知願いたい。

〈会長〉仮に、県外視察を自己負担でもかまわないので行いたいと要望があった場合は可能だろうか。

〈事務局〉そのときにご相談させていただきたい。

〈委員〉予算がないから事業減、回数減ということではこの先会自体の存在意義に影響するのではないか。

〈会長〉予算について金額カットは仕方ないとしても、事業内容をどうするかというときには関与したかった。決定権がないにしても協議させていただければありがたい。

また、新年度の具体的活動内容については、全委員がいる場もしくは定例会で議論する必要があるだろう。

地震後、新たにスタートするという意味で、役割を担わなければならない気持ちはあるが、本来のこの会の目的・役割があるので、それを見失わないように再度見直し、今後どのような活動をしていくべきか考えたい。回数は問わないが質を落とさないようにしたい。

〈委員〉今後問題になるのは形にならない「安心」の問題だと思う。

〈委員〉6年間の活動を通じ、専門的になりかけてきている気がする。一般の人がわかりやすい、またどうやったらわかりやすくなるかを考えていかなければいけないと思う。

【決定事項】

- ・ 予算については5月定例会時に事務局より報告する。

次回以降定例会内容について

○5月定例会(5月13日)内容について

〈会長〉4期目が始まって最初の定例会。広報センターの理事長である柏崎市長から委員への委嘱状授与、挨拶をお願いしたい。そのほかどうするか。

〈委員〉東電でまた火災があった。基数が多いのはわかるが、火災の発生頻度、割合等について比

較したようなものがあるのか。なぜ柏崎刈羽が多いのかというのは全体の関心事と思う。

〈委員〉 火災のレベル、評価の基準を知りたい。

〈保安院〉 火災であるかないかの判断は消防がする。柏崎市の場合は柏崎消防が判断する。

〈委員〉 発電所火災の消防の対応について説明を聞くことも必要ではないか。

〈委員〉 可能であれば柏崎消防からも説明をしてもらいたい。

〈会長〉 前回以降の動きとは切り離し、火災だけで説明してもらおうことでよいか。

(委員 同意)

〈会長〉 時間があれば、今後の活動として希望があれば伺うことにさせていただく。

【決定事項】

〈内容について〉

- ・ 委員の委嘱はセンター理事長である会田市長にお願いする予定。
- ・ 市長、村長から挨拶をしていただく予定。
- ・ 委員自己紹介については、時間の都合上、座席表の配付をもってかえる。
- ・ 会長、副会長の選出、新年度活動報告（議長決定まで進行は事務局が行う）
- ・ 議事内容は、火災に関する状況説明（東電）、発電所火災の対応について（市消防）、火災に関する説明（保安院）

○6月定例会（6月3日）内容について

- ・ 6月3日（水）19:00～ 原子力広報センターにて
- ・ 議題については次回検討。

委員意見質問について

- ・ インターナルポンプに対する質問
- 前回以降の動きの中で、インターナルポンプがイメージできるような絵を提示し、重さや直径、どういう設備なのか等の説明をする。（東電）
- ・ 補助壁に対する質問
- 前回以降の動きの中で説明する。（東電）
- 県の前回以降の行政の動きの中で、技術委員会小委員会の論点を説明してもらう。

4月22日拡大運営委員会について

〈会長〉 WGPC ワークショップ時のプレゼン資料を用いて、新委員さんへ地域の会の概略について説明したい。その後新委員との意見交換とさせていただきたいがよいだろうか。

(委員 同意)

【決定事項】

- ・ 会の概要説明および意見交換を行う。